



医歯学総合研究科大学院特別講義／お茶の水ニューロサイエンスセミナー  
(医歯学先端研究特論) (生命理工学先端研究特論)  
(医歯理工先端研究特論)

## 神経回路を精緻化するプロトカドヘリンと その発現制御

演者

金子涼輔 助教

群馬大学大学院医学系研究科 生物資源センター

日時

2018年6月19日(火) 18:00 - 20:00

会場

M&Dタワー 9階 大学院講義室4

講演要旨

多細胞生物は細胞の単なる集合体ではない。すなわち、細胞間の相互作用ネットワークとそれらの統合システムが備わってこそ個体機能が十分に発揮される。ヒト脳には約1000億個のニューロンがあり(註:マウス脳には7000万個)、複雑なニューラルネットワークを作る。この複雑なニューラルネットワークが膨大な情報を処理し、運動、記憶、学習、感情、認知をもたらす。さらに、これらの情報が統合され、高度な精神機能や心が生まれる。

脳において多様なニューロン間の相互作用ネットワークやその統合システムはどのように形成され機能しているのだろうか? 私たちはその形成を担う候補分子として、多様化した細胞接着分子群プロトカドヘリン(Pcdh)に着目している。本講義では、Pcdhの発現制御機構や神経回路形成とのかかわりについて紹介する。

多数の皆様の御来聴をお願い申し上げます。

担当:耳鼻咽喉科学分野

連絡先:システム神経生理学分野・杉原 泉 内線 5152/5153